

## INV テクニカルニュース

シート	分類	タイトル	機種
MF-F-012 (1/1)	パラメータ	電子サーマルの設定について	全般
<p>インバータ電子サーマルの設定値はカタログ、取扱説明書等には 50Hz 基準の電流値をそのまま設定するよう記載されております。また、技術資料集等ではこれに加えて 60Hz 基準の電流値の 1.1 倍の値を設定するよう記載されております。この理由について以下に説明致します。</p> <p>インバータの出力電流はリップル分を含むため、モータに定格トルクをかけてインバータ運転した場合、定格電流の約 1.1 倍の電流が流れます。</p> <p>汎用モータを 60Hz 基準で運転した場合（基底周波数 Pr.3=60 の場合）、モータには熱的に若干余裕があるため、定格電流の約 1.1 倍の電流が流れても焼損することはありません。そのため、定格電流の 1.1 倍の値を電子サーマルの設定値としても問題はなく、またこの時 100%の定格トルクにて連続運転することが可能となります。</p> <p>汎用モータを 50Hz 基準で運転した場合（基底周波数 Pr.3=50 の場合）、モータは熱的にあまり余裕が無いためインバータのリップル分を考慮した電流値を設定する事ができません。よって 50Hz 基準の定格電流値をそのまま設定していただくようお願いいたします。</p> <p>60Hz 基準の定格電流値を 1.1 倍した値と、50Hz 基準の定格電流値のどちらの値を設定しても問題ありません。そのためカタログ、取扱説明書では簡単に設定していただけるように、「50Hz 基準の電流値を設定して下さい」とのみ記載しております。</p>			
発行日			三菱電機 名古屋製作所
1999-10-4		F-ZP-02	